

オブジェクション 155

衝突編

岡森 利幸

本編は、次の11項目からなる。

- ① 仕事の不満を家に持ち込めば
- ② こき使われる研修医たち
- ③ 宮里藍のモチベーション
- ④ 今治・高齢者連続刺殺事件の暗闇
- ⑤ 男と女の分け隔て
- ⑥ 日本国債をせっせと買い込む日銀
- ⑦ もしも原発がミサイル攻撃されたら
- ⑧ 貨物船にぶつけられた米イージス駆逐艦
- ⑨ 旭日旗の意味するところ
- ⑩ 渋谷事件その後の逃亡と執念の追跡
- ⑪ 豊田真由美氏の秘書イビリ

① 仕事の不満を家に持ち込めば

以下は、新聞記事の引用・要約。

【毎日新聞朝刊 2017/5/1 男の気持ち

「心が固まって」

「誰のおかげで飯が食えているんだ」という夫の発言が本欄でたびたび取り上げられています。私の場合、私が60歳で退職後まもなく、妻から離婚の申出により離婚に至りました。離婚の最も大きい理由は、子供が乳飲み子だったときに、私が妻の苦しみを少しも察することができず、「義務を果たせ。やるべきことをやってから文句を言え」と言ったことが、最後まで許せなかったとのことでした。

ところで、子供ができる前のこと、私が仕事場の人間関係に苦しんで、妻に愚痴をこぼしたとき、妻は「仕事の不満を家に持ち込まないで」とピシヤッと私の発言を止めた。外での不満はそれ以降妻に話せなくなりました。妻に対して心が固まってしまった。

それが妻との人間関係において生涯続き、妻が幼子を育てるときに同じこと（文句を言うな）を言ってしまったのだと、最近気づきました。」……カッコ内は、私が補足したもの

その妻だった女は、夫の仕事場の人間関係など、ぜんぜん興味ないのだろう。人間関係の悩みを語り出す夫に対し、「仕事の不満を家に持ち込まないで」と言うのは、最悪の対応だろう。

悩める夫が、愚痴をこぼすことができるのは、妻ぐらいのものだろう。話を聞いてくれるだけでもいい。それが息抜きになったりする。

同じようなことを、居酒屋のような席で同僚に言うことがあるだろう。しかし、おそらく同僚は聞き流すだけで、話をまともに聞いていないのだ。他人の悩みを、おもしろおかしく聞いているだけかもしれない。

夫は愚痴を言いながらも、解決策を考えているものだろう。一緒に考えてもらいたい、味方になってもらいたいという甘えのようなものがある。ひよっとしたら、解決のヒントのようなものを妻が示してくれるかも……と淡い期待を持っていたりする。

それをピシヤリと止められては、立つ瀬がない。し

かも最後まで説明し終わらずに、途中で打ち切られたのでは、憤懣のやる方がない。これでは、ささいな相談もできない。〈この女は、本当に伴侶なのだろうか〉と疑りたくなる。〈苦楽をともにするんじゃないか〉のか〉〈夫がまじめな話をしているのに、妻はそれを聞きたくもないんか。妻が聞きたいのは、軽薄な世間話だけか？〉

妻は、夫がどんなことに悩んでいるのか理解しようとするべき、と私は思ってしまう。仕事場の人間関係に苦しむ夫としては、それは単なる愚痴ではなく、相談事というべきものだろう。夫は愚痴をこぼした後、妻が、たとえ「職場には変な人がいるのね」ぐらいの、夫の肩を持つような発言の一つを返してくれるなら、すこしは救われた気持ちになれるだろう。

ただし、聞き終わって妻は、たとえ夫の方に非があつても、それを指摘するような「言い返し」をするのは避けた方がいいかもしれない。

「あなたにリーダーシップがないからよ」

夫は、妻からの鋭い指摘に言葉を失う。

〈くそつ、どう説明すればわかってもらえるんだ。オレのせいだというのなら、おまえもあいつらと同列だ。おまえに言うんじゃないか〉と心の中でつぶやく。

家庭で妻が味方になってくれないことを、どこか別のところでばやくしかない。

②こき使われる研修医たち

【毎日新聞朝刊 2017/6/1 社会】

新潟市民病院、研修医自殺。労災認定へ。労基署「過労が原因」と認定した。遺族「最長で月251時間残業していた」】

【毎日新聞朝刊 2017/6/2 社会】

新潟市民病院の研修医だった木元文さん（当時37歳）の自殺で、うつ病発症前月160時間残業していた。労基署が労災認定。病院側は「学習の目的は労働時間に当たらない」として約48時間の残業と反論していた。】

【毎日新聞朝刊 2017/6/19 女の気持ち】

激務の研修医。月20日間近く当直している娘が、深夜泣き声で電話をかけてくる。】

新潟市民病院だけでなく、各地の病院で研修医たちが過労に陥っている実態が垣間見える。病院側は労働管理がずさんで、学習と称して残業手当も払っていない

い実態もみえてきている。

一人の自殺の後ろに、その予備軍が多数いると考えなければならぬ。やはり新潟市民病院だけでなく、他の病院でも似た事情がある。根底には、日本における医師不足がある。特に、勤務のきつい科目には医師が集まらない。

新潟市民病院側の言い分を汲んだとしても、学習の目的で病院に留め置くならば、その分、労働時間を軽くしてあげなければダメだろう。たとえ自主的な学習であっても、人の命を預かる医療だから、気を張り詰める必要がある、手を抜くことなどできるはずがない。医療現場で学習することは、働く以上に心身が疲れるに決まっている。

病院や医師たちにとっては、研修医制度は都合の良いものだろう。研修医は安い労働力なのだ。賃金も安いし、使いやすい。少々仕事の負担を重くしても、文句も言わない。ベテランの医師に頼むと、ブーブー言うような勤務もしてくれる。医師のだけれど嫌がる当直は、研修医に限る……。当直では、ゆっくり寝ている暇もないに違いない。

医師は年功序列で偉くなり、自分で仕事を選べる立場になれる。しかし、研修医は、上司の医師に言われ

るがままに動かなければならぬ。仕事は一人前にこなすけれど、身分は半人前だ。医師たちの機嫌をそねると評価が悪くなり、研修医から医師になることもできなくなる恐れがあるのだろう。年季奉公的な側面もある。恩のある病院で働かなければならない。研修医は、医師たちの少々のパワーハラスメントには眼をつぶらなければならぬ。女医の場合は、時にはセクハラを覚悟しなければならぬのだろう。

獣医より一般の医師の方がよほど不足しているのではないか。

③宮里藍のモチベーション

【毎日新聞朝刊 2017/5/30 一面、スポーツ、社会】

宮里藍が引退する。背中から腰の痛みも発症していた。】

【毎日新聞朝刊 2017/5/30 一面】

宮里藍「モチベーションの維持が難しくなったことが一番」】

宮里藍の引退表明は、大きなニュースになった。新聞の一面トップになった。一般の人には意外だったわ

けだ。早すぎる引退に思えたのだろう。周囲のものが「どうしてなんだ？ まだやれそうじゃないか」と疑問に思ったかもしれない。しかし、やってられないことは、本人が一番わかっていることだろう。

宮里藍と言えば、ラウンド後のインタビュなどで、はきはきと常に前向きな言葉で返事をする新鋭女子ゴルファーというイメージが強い。言うだけでなく、目覚ましい活躍で数々の優勝を勝ち取ったから、言行一致の優等生だった。アメリカでプレーするにしても、日本を代表する世界的なゴルファーとして周囲の期待も大きかった。しかし近年、そんな活躍が伝えられていなかった。

宮里藍はその疑問に、言葉を選んで答えている。その理由の第一として「モチベーションの維持が難しくなった」ことを挙げた。身体的理由を口にしないのは、彼女の「意地」のようなものによるのかもしれない。でも、モチベーションがないとはどういうことか？

モチベーションがなくなったことを言い換えれば、「やる気を失いました」という意味だと私は解釈する。体力的な面よりも、気力がなくなったことを第一に挙げているわけだ。近年、成績が低迷し続けたことにあるのだろう。いくらがんばっても、いい成績を残せな

いい、というあきらめがあったようだ。何かを達成しようとする目的意識がなくなつたのだろう。どうやったら、昔のようなゴルフができるのか、わからなくなつたのだろう。その方法を見出せなくなつた。いくら練習しても無駄な努力としか思えなくなつた、そんな苦労はもうしたくないと考えるようになった、と推測できる。挫折感だ。心が折れたのだ。ゴルフは高級な娯楽ではあつても、職業としてやっている彼女にとって、娯楽ではなかつたのだろう。

他の若い選手たちが台頭し、特に韓国や台湾系の選手たちの活躍も目立つ。過去の栄光を背負うことは気分的に重すぎる。もう自分の出る幕がなくなつた、という悲哀があることだろう。栄光のお立ち台にはもう上れそうもない、というの屈辱的だつたようだ。

宮里藍の場合、そんな心的要因よりも、背中から腰の痛みなどによる体調の悪さが関係していたとも伝えられた。背中や腰が痛ければ、ティーショットを豪快に打つこともできないからプレーに影響するし、満足に練習もできない。体を直さずに、無理して海外の競技会に出場していたのがいけなかつたかもしれない。

宮里藍については、世論はその低身長を時々指摘する。彼らには、彼女の身長が155センチであること

で、その体力的にどうか、という先入観のようなものがある。小柄ながらよくがんばっていた、という賞賛の意をこめている記事もある。彼女自身が低身長をハンディキャップととらえていたかどうかはわからない。

ピークを過ぎたスポーツ選手が引退理由を語るのには、すべて愚痴と言いつつになってしまふのは止むを得ない。おのれの不出来を嘆くことになってしまう。スポーツで一流になるには、その素質があるかどうかよりも、練習を好んで行えるかどうかだろう。好きでないやれないし、長続きしないものだろう。練習でも、達成感が得られることもあるから、苦痛ばかりではないが……。中には高額な優勝賞金に目がくらんで、努力している人もいるだろう。

引退に、かつこのいい理由などないわけで、他人を納得させる必要はない。「諸般の事情」ぐらいの言い訳で十分だろう。言えは言うほど、愚痴になつてしまふ。そろそろ引退と目されているような人が引退をほのめかしても、周囲は引退理由をあえて質問したりしないものだろう。

宮里藍は、「出ると負けが続くような、こんなゴルフ、つまらん！ やあーめた」と、ゴルフクラブを放り出して、引退を宣言したらどうだったか。

しかし、彼女は、ふがない自分に怒ることもできず、いつもの模範解答をするような口調で、今シーズン限りで、つまり計画的に引退することを表明した。そんな理由を、とやかく批判してはいけないようだ。

一般の人でも、会社を辞める、あるいは離婚するなど、そんな苦渋の決断を迫られることがあるものだ。それは自分で「負けを認める」ことになり、つらいところだ。周囲からは「負け犬」、「根性なし」、「出戻り」という言葉で見下されることもある。そのつらさを乗り越えるためには、もう怒りの感情しかない。「人格に欠陥のある最低の上司だ！ こんな会社、辞めてやる！」

『だれのおかげで飯を食っていられんだ！』なんて、もう言われたくないよ。あんな男とはやってられない！』

④今治・高齢者連続刺殺事件の暗闇

【毎日新聞朝刊 2017/5/5 社会】

愛媛県今治市室屋町で、5月3日9時ごろ、市営住宅の一室で高齢の親子が、侵入してきた女に刃物で

殺傷された事件で、県警は4日、現場近くのマンションに住む40歳前後の女から事情聴取した。（容疑者の）自宅を捜索し、自転車押収した。重傷を負った岡本久行さん（70）は、インターホンが鳴ってドアを開けたところ、いきなり女に切りつけられたという。母ユキエさん（92）は出血性ショックで亡くなった。

同市では4月26日にも民家で一人暮らしをしていた老女（81）が刃物で刺され、死亡する事件が発生した。】

【毎日新聞朝刊 2017/5/6 社会】

愛媛親子殺傷で、聴取していた女性が自宅で自殺していた。県警「捜査は適正だった」

4日午後1時半から午後10時半まで、女性から任意で事情を聞いた。引き続き任意の事情聴取をするため、午前9時ごろ実家を訪れたが、室内で自殺している女性を見つけた。】

【毎日新聞夕刊 2017/5/8 社会】

自殺女性のDNA型が、4月発見の遺体周辺で検出した。彼女の遺書には「私はやっていない」と書かれていた。】

【毎日新聞朝刊 2017/5/9 社会】

自殺女性の靴に血痕が被害者の岡本ユキエさんのDNA型と一致した。親子殺傷事件では、長男久行さん（70）も背中を切られて大けがし、「知らない中年の女だった」と話している。4月26日の事件現場でも、遺留物に自殺した女性のDNA型が検出された。――

愛媛県今治市、近隣の住宅街の中で連続的に起きた不可解な二つの刺殺・刺傷事件。似たような状況から同一犯との公算が高く、さらに同様な第三の事件が起きる可能性が高かったから、警察としては、重点的に捜査したことだろう。しかし、刺されながらも意識のある久行さんの証言があり、さらに、不審人物が移動するのを捉えた、付近にある防犯カメラの映像もあったから、警察にはそれほど難しい事件ではなかったはずだ。

4月26日の事件で目星が付いていたようだ。親子殺傷の翌日、警察は容疑者の自宅を捜索し、逃走に使われたと思^{おぼ}しき自転車も押収した。しかし、容疑者を逮捕しなかった。第三の事件が起きるのを防ぐためにも、早急に逮捕する必要があるはずなのに……。自宅に返すと、証拠を隠滅する可能性もあったはずだ。

警察署で4日午後1時半から午後10時半まで9時間、任意の事情聴取しながら、逮捕に踏み切らなかったのは、判断力に欠けると言わなければならない。だれであっても、警察署に留め置かれ、ほとんど密室状態の中で、9時間も取り調べられるのは、ほとんど拷問だろう。鬼のような顔でにらみつけられ、一方的に何時間も質問責めにされたら、たとえ無実の者であっても、自分がやったかもしれないなどという「警察の期待に沿ったうそ」を言うようになってしまう。それが「任意」であるはずがない。警察は、強制の事情聴取をしていたことになる。「家に帰りたい」といくら言っても、帰さなかったわけだろう。警察は執念深く、疑り深く追及し、交友関係から何から何まで、答えさせようとしたりに違いない。午後10時半というと、「深夜」の時間帯になる。

警察は、それでも飽き足らず、翌朝から尋問を続けようとしたが、容疑者はもう冷たくなっていた。固く口を閉ざしていた。容疑者の自殺は、容疑者を取り逃がしたも同然であり、警察の大きな失態の一つだろう。県警が「捜査は適正だった」とシャーシャーと言ったのは、あつかましすぎる。不適切な捜査だったとして、反省してほしい。これで犯行動機は暗闇の中だ。逮捕

せず、家に返したことが、自殺の機会を与えたことになる。結果的に、警察が被疑者を自殺に追いやったことは、第三の事件が起きるのを防ぐ意味になった……。

この一連の事件には、犯行の動機がわからないことが一番のなぞだろう。警察としては、あの女が犯人だと確信しながらも、目的や動機がわからなかった。犯行の理由がない。それが理解できなかったから、逮捕に踏み切れなかったに違いない。

近所トラブルでもない、怨恨でもない、金品目的の強盗でもない、保険金や遺産目的でもない。容疑者にとって殺すことで何のメリットも得られない、殺したら重罪になるのに、あえてやったわけは何だろう？まさか、この女は殺し屋として雇われた？ それだとしても、被害者たちは街の中でひっそりと慎ましく生きていた人たちばかりだから、殺される理由がない。

こんな、動機の全くない犯行はありえない——と警察は思ったことだろう。または、容疑者は精神的におかしいんじゃないか——とも思ったことだろう。精神におかしければ、罪に問えないから、警察は逮捕を躊躇したのかもしれない、と私は想像を膨らませる。しかし、容疑者が精神的に病弱だったという話は聞かれない。

その後のDNA鑑定などで、容疑者の女が殺傷したことが確定的になった。

彼女が警察に対して「私はやっていない」という遺書を残したのは、あてつけがましい。警察には、自分が犯人であることを最後まで認めなかった。犯行を認めたら、その理由を語らなければならぬ。どうしても言わせたい警察だったが、彼女は語りたくなかったのだろうし、「確かな証拠がないから、私に自供させたいんだろ？ ねちねちクダクダ質問するより、自分の足で証拠を集めてみるよ！」という意味の挑戦状を叩きつけたかったのだろう。

彼女が高齢者ばかりを狙ったことに私は注目したい。これまで発生した特定の事件のように「刺殺する相手は、誰でもよかった」わけではなさそうだ。

高齢者に殺意を持ったのは、ある意味で、たいした理由とは思えない。一つの思い込みがあったかもしれない。私が想像するに、「わが市に高齢者が増えてきた。このままだと高齢者ばかりの町になってしまう。高齢者はこの街からいなくなればいい。私が何とかしよう……」という発想をしたことが考えられる。

⑤男と女の分け隔て

【毎日新聞朝刊 2017/5/19 社会
大阪の保健所が、ゲイの2人を拒否したラブホテル
に指導。】

【毎日新聞朝刊 2017/5/19 社会
性別なし（男女区別せず）の代名詞として、単数に
theyを使うことにAP通信が採用する。LGBT
Tなどに配慮している。どう和訳する？】

【毎日新聞朝刊 2017/6/20 社会
埼玉の小学校5年の授業中に、教諭が「ここにオカ
マがいるのか。誰だオカマは」と言った。LGBT
の児童が帰宅後保護者に相談し、保護者が学校に抗
議した。】

【毎日新聞朝刊 2017/7/5 経済
狩猟免許を取る女性が5年で倍になった。鳥獣肉
（ジビエ）料理の魅力など、動機はさまざまだが。】

性同一性障害の肩身の狭さが、近年、緩和されつつある。家庭でも企業でも社会一般でも、容認してきている。本人としても、堂々とカミングアウトできるようになってきた。女は女らしく、男は男らしくふるま

うことが社会の規範となっていたが、近年、かなり緩んでいる。

一昔前では、かれらの生き方は公序良俗に反することと思われていたから、世間の見る目が冷たかった。見下されていた。今では、それを差別とみなすようになり、個人の自由を尊重するようになったわけだろう。公序良俗の定義も変わりつつある。職場でも、仕事をしてくれるなら、男でも女でもどちらでもいいとしている。法的にも、それを募集条件にはいけないことになっている。ただし、採用するかどうかは企業の判断になってしまふ。

でも、LGBT（性的マイノリティー）に関しては、まだ十分に認識されているわけではない。性同一性障害という言葉からしても、一般的には「病気」とみなされているわけだろう。互いにパートナーとして同居し、家庭を築けるにしても、同性のカップルからは、子どもが生まれにくいという問題がある。（養子をもらう方法はある）生まれてくる子どもの数が少なくなりつつあるのに、そんなカップルが増えれば、少子化を助長することになりそうだから、社会的に好ましいことだとは思えない。（結婚しない人の方が、よほど問題かもしれないが……）

大阪でラブホテルに拒否されたゲイのカップルは、見かけ上、明らかに同性だったようだ。ゲイを拒否する理由が私にはよくわからないが、男女の利用に限定するラブホテルにどうしても入りたければ、一方が女装するなり、あるいは男装するなりすればいいことだ、と私は思うのだが……。この二人は拒否されて憤懣やるかたなく、保健所に訴えたわけだろう。（旅館の管轄が保健所だということも私は知らなかった）旅館法をたてに、保健所はラブホテルに指導を入れたわけだろう。旅館を営業するならば、ゲイであるという理由で宿泊を拒否することはできないわけだ。

次の例では、教師が黒板に向かっていたとき、女の声を発した一人の生徒に対し、「オカマはだれだ！」とからかうように言った。和気あいあいのクラスの雰囲気だったわけだ。ところが、教室の中に居合わせた性同一性障害と思われるひとりの児童が、それを親に訴えた。クラスで、オカマがからかいの対象になり、笑いものになったことに不平を言ったのだろう。その親が怒った。学校に電話して、教師を怒鳴りつけたわけだろう。おそらくこんなふうに、

「先生が、性的マイノリティーをクラス中の笑いものにしていいんですか？ この子らを差別して、そんな

に楽しんでですか？ 学校ははじめを助長するところで
すか？」

学校側は、言い訳もできず、頭を下げるばかり……。
「オカマ」という言葉に、蔑視するニュアンスがある。
いわゆる差別用語だろう。それで、クラス全体でから
かいの対象になり、笑いを引き起こしたことが、その
中にいた少年（少女？）の心を傷つけたわけだ。

子どもは純真だから、奇異な振る舞いをする者に対
し、からかうのが好きだ。先生も、からかいによっ
て、クラスが盛り上がることを知っているから、おど
けたように「誰だオカマは？」と言ったりしたのだ。

その後、メディアにも知られることになり、校長以
下の教師たちが児童全員を講堂に集めて、特別な訓示
をたれたことだろう。その厳命によって、オカマをか
らかうことを止めたとしても、子どもたちが理解した
とは思えない。校長がいかにめい顔で止めろというか
ら、からかわないと誓ったとしても、子どもたちには、
「どうしてからかわっちゃいけないの？」という疑問が
残ると思える。

小中学校では、男女を区別しない教育が進められて
いる。いつの間にか、男女で区別する敬称について、
○○くん、○○さんの男女別敬称を止めてしまい、○

○さんに統一してしまっているという。社会的な傾向として、性別にこだわらなくなっている。それでは自分が男なのか女なのか、ますますわからなくなったりして。それが自由で、名前や服装を変え、さらには体の構造まで変えられるならば、特に第二次性徴期を過ぎてから、自分が女として生きればいいのか、男として生きればいいのか、悩みの種が増えることになるようだ。

狩猟免許を取る女性が5年で倍になったという記事について、「女は狩猟をするものでない」という昔からの掟がゆるんだ（観念が薄れた）ことが第一の原因だろう、と私は考える。昔は、女が猟銃を持つなんて考えられなかったから、少なかった。今では、女が猟銃を持つてもいいんだ、という世の中になっている。

「女らしい」「男らしい」と表現することは、性的な差別になるわけだ。「女々しい」とか「男勝り」という表現もできなくなるのだろう。

⑥日本国債をせっせと買い込む日銀

【毎日新聞朝刊 2016/1/11 総合・経済】

国の借金（国債と借入金、政府短期証券の合計）が過去最大の1062兆円になる。】

【毎日新聞朝刊 2017/5/19 総合・経済】

GDPが年2.2%増だが、暮らし実感は薄い。「給与上らぬ」節約志向。】

【毎日新聞朝刊 2017/6/2 総合・経済】

日銀の国債買い入れが減少した。「年80兆円をメド」としているが、実際は60兆円。】

【毎日新聞朝刊 2017/6/2 総合・経済】

日銀が、金融緩和策を指摘する。

日銀・黒田総裁が、安定的にインフレ率2%を起こすまでお金の供給量を拡大することを明らかにした。】

【毎日新聞朝刊 2017/6/3 経済】

日銀資産が初の500兆円を超えた。GDPと同規模、緩和前の12年末は158兆円だった。大半を占めるのが国債で、427兆2495億円】

【日経新聞朝刊 2017/6/30 p31 経済教室】

日銀の債務超過転落には本質的問題はない。】

【毎日新聞朝刊 2017/7/4 総合・経済】

16年度税収55.5兆円、前年度実績56.3兆円から8000億円減。税収が前年度実績を割り込むのは7年ぶり。】

日銀は国債を年に80兆円も買い入れて、どうするだろう。私としては、この動きが一番気になる。不良債権を貯め込んでおくとしか思えないからだ。

政府はどんどん国債を発行し、日銀がその国債をせっせと買い入れている構図は、グルになってお金を乱発している状況に見える。国債を買ってくれる人が他にいないから、日銀が仕方なく買っているという構図でもある。

ざっと1000兆円の負債を抱えている政府は、いわば借金まみれの状態だろう。少しぐらい景気がよくなって、税収が増えたとしても、これはやすやすと返せる金額ではない。景気頼みの増収期待だから、返済計画もあったものではない。政府の財政健全化は掛け声だけだ。安倍政権がアベノミクスと称して必死になつて経済をよくしようとしたが、結局は税収が頭打ちになつている。彼らのお抱え経済学者によれば、経済がよくなれば税収が多くなるはずではなかったのか。来年度（2018年度）は税収がV時回復することを期待して予算案を作ろうとしているという。税収増を見込んで、ますます気前よく公共事業費や防衛費などを増やすつもりなのだろう。

国債を日銀に買わせることに政府が圧力をかけてい

る、という側面をあるだろう。日本の国債が売れなくなっているためだ。何しろ、国債の利息は「すずめの涙」であり、一般の金融機関や個人にしても、何らかの義理がなければ、買うメリットがない。マイナス金利なら「元本割れ」必死だし、インフレなら、その分の額が目減りする。

日銀はあいかわらずインフレ率2%目標を主張している。しかしながら毎年、物価が2%上れることは、お金の価値がその分、下がっていくことだ。政府や日銀は、一般国民にとってひどい金融政策を本気で推し進めていることに、恐怖を感じる。彼らは、2%のインフレが安定的に起これば、需要が伸びて経済が活況を呈するということを本気で信じている。インフレが経済を活性化させるといふ「経済法則」が、安倍首相がお気に入りの経済学者の共通認識らしい。

2%のインフレを、だれもがほんとうに喜んでいいのだろうか。たとえ企業が儲かっても、働く者の給料や年金生活者への支給額が2%も上がるとはとても思えない。2%のインフレがそんな政府にとって一番都合のよい面は、巨額負債が目減りすることだろう。われわれの、わずかな預貯金も金融証券なども目減りすることになる。

日銀が強引にインフレに導こうとしているのに、近年、日本でインフレらしいインフレが起きないのは、奇跡的でもある。消費者があわてて余計なものを買いに走らないからだろうし、経済が国際的になっていて、原油価格が低迷していることが一番のインフレの防止になっているのだろう。

今の政府は赤字国債を追加発行することはあっても、発行済み国債の山を減らすことはできそうもない。返せない借金を抱えながら、さらに借金をしているわけだ。国債を日銀に買ってもらうことは、赤字体質の政府にとって都合がよい。それをいいことに、さらにその山を大きくしている。そんな国債は不良債権といふべきだ。記事に、日銀の資産は500兆円を超えたところがあるが、実質的に不良資産を抱えている。しかしながら、日銀はいくら不良債権を抱えても、不思議なことには、痛くもかゆくもないらしい。誰が困るということにならないらしい。国債の償還時期が来ても、新たな国債に付け替えるだけだろう。日銀は不良債権の山をかかえ、さらに積み増ししている。日銀はそんな不良債権をいくら抱え込んでも、へとも思わないところがあったのもしい。(皮肉をこめて)。

かつて日銀には、国債買い入れる限度額があったはずだが、そんな自己規制など取っ払って、異次元の金融緩和に踏み切っている。

際限なく国債を積み増しすることが、日銀にはほんとうに可能なのだろうか、という疑問に対する解答が得られない。こんな状態は、根本的におかしいはずだ。いつかやむをえず、山のような不良債権である国債をデフォルト(債務不履行)にして整理するしかないだろう。日本政府は、1000兆円もの「借金」を踏み倒すことになる。日銀の「金庫」に貯め込まれている資産など、価値として認められないだろう。

そんなうわさが立つだけで、世界的に円の為替相場が怪しくなる。商品や原材料を輸入したくても、相手国は「円」では売ってくれない。そのときは、2%のインフレどころか、数百パーセントのハイパーインフレが起きそうだ。日本銀行の幹部たちは平気な顔しているのだろうか……。

⑦もしも原発がミサイル攻撃されたら

【毎日新聞朝刊 2017/6/22 社会】

石川県知事・谷本氏が県町長会で「兵糧攻めで北朝

鮮国民を餓死させなければならぬ」と発言した。出席者によると、北朝鮮のミサイル発射を想定し、県が年内をめどに予定している訓練に絡み、「（県内にある）北陸電力・志賀原発が狙われたらどうするか」と問われ、発言したという。】

【毎日新聞朝刊 2017/6/28 総合】

石川知事発言で北朝鮮が「民族排他的主義的妄言だ」と非難した。同通信は谷本氏が「朝鮮人民の抹殺を公然と扇動した」とする。谷本氏は22日に発言を撤回した。】

石川県知事の発言の意味するところは、「やられたら、やり返せ、リメンバー志賀原発！」といったところだろう。ほとんど怒りくるって「兵糧攻めで北朝鮮国民を餓死させろ」と口走ったわけだ。志賀原発は石川県にとって「急所」であり、そこにミサイルを打ち込まれたら、その影響ははかりしれないことを意味している。彼としては、そんなことは想像もしたくないことだが、東日本大震災における福島第一原発事故の二の舞になってしまおうという恐怖感があつたとみる。どうやら石川県知事の逆鱗に触れる質問だったようだ。それにしても、北朝鮮国民を餓死させるとは、過激

すぎる。ヘイトスピーチになっていたので、メディアが伝えるところになった。まもなく北朝鮮は、自国のミサイルのことは棚に上げて、妄言だと批判した。

北朝鮮では、国外に逃げ出したいほどの圧政に苦しんでいる人が大多数だろう。その国民をさらにいじめることになっては、人道に反する。志賀原発がやられたと仮定しても、その仕返しに、国民を餓死に追い込もうとするのは、とんでもないことだ。

そもそも、石川県が単独で「兵糧攻め」の旗振りをして、効果をあげられるとは思えない。外交あるいは国防の問題であり、国レベルで政府が、あるいは国際レベルで対応すべきものだろう。

知事の権限で、志賀原発の建屋を強化させるとか、メルトダウンの防止策をさらに講じさせることぐらいが、実現可能な範囲で有効な対策だろう。その上で、「この原発にミサイルを撃ち込めるものなら、撃つてみる」と挑発してはどうか。半分冗談だけど。

ほんとうに冗談を言った人がいたので、以下に示す。東京のど真ん中というところ、きわめて象徴的だ。原発へのミサイル攻撃が現実のものとなったと仮定すれば、「石川県の高浜原発でよかった」と言い出す人がいるかもしれない。

【毎日新聞朝刊 2017/6/17 社会】

原子力規制委員会の田中俊一委員長が、福井県高浜町を訪れ、地元との意見交換の場で、高浜原発が北朝鮮によるミサイル攻撃への対応についての質問に答えて、「小さな原子炉に落とす精度があるのかよくわからない。私だったら東京のど真ん中に落とす方がよっぽどよいと思う」「今のは冗談」と付け足した。】

⑧貨物船にぶつけられた米イージス駆逐艦

【毎日新聞朝刊 2017/6/17 一面】

6月17日午前2時20分ごろ（正しくは午前1時30分）、伊豆沖（伊豆半島石廊崎の南東約20キロ）で米イージス駆逐艦フィッツジェラルドが大型コンテナ船ACXクリスタルと衝突。乗員2人が負傷、7人が行方不明。米艦は右舷の損傷が激しい。コンテナ船は船首の左側に損傷がある。

イージス艦は、長さ154メートル、重量8315トン、乗員約300人。貨物船は、2222.6メートル、2万9060トン、20人

海上衝突予防法では、相手を右に見る船に回避行動

をとる義務がある。】

【毎日新聞朝刊 2017/6/19 社会】

米イージス艦が17日午前1時半ごろにコンテナ貨物船と衝突。米艦は弾道ミサイル防衛システムを備え、北朝鮮のミサイル警戒任務に従事したことがある。二つの居住区部分（116人が生活）が浸水し、中で遺体が発見された。】

【The Japan Times 2017/6/28 一面】

貨物船の船長は、駆逐艦が貨物船の航路の前を横切る形で急に（suddenly）出てきたので、フラッシュライトで合図を送り、舵を右に深く切ったが、よければ、10分後に衝突した、と話した。】

衝突したイージス駆逐艦（英語で destroyer）は、米軍が誇る最新のリーダー探査機器と、ミサイルなど攻撃兵器を一通り備える戦闘艦だ。堂々たる艦容であり、空母や原子力潜水艦を除けば、最強の軍艦の一つだろう。

それが、コンテナ貨物船ぶつつけられ、ほとんど「戦闘不能」になってしまった。長期の修理を要する被害を受けた。イージス機能を備えた15億ドルもの高価な軍艦が、一時的にせよ、使い物になら

なくなつてしまつた。北朝鮮が発射するミサイルを警戒・対抗するための一翼を担っていたのだが、戦列から離れることになる。その弱体ぶりに、なさけないという思いを持つのは、私だけではないだろう。近づいてくる船に対し、何の警戒心を持たなかつたようだ。ちなみに、コンテナ貨物船は、船首にかすり傷程度だ。

艦の写真を見ると、艦橋右側の中ほど部分が、ぐしやぐしやに押しつぶされている。ミサイルを一発打ち込まれたようなダメージだ。それでも船体は航行可能であり、たいしたことがないようにみえる。しかし、喫水線の下での船腹部分に、大穴が開いているのだ。貨物船の船首の海中部分に、突き出た構造（球状船首・造波を抑えるためのもの）があり、それが駆逐艦の船底に突き刺さる形で、穴を開けたのだ。そこから海水がどつと流れ込み、116人が寝ていたという二つの居住区を水浸しにしたのだ。つまり、魚雷のようなものが撃ち込まれていた！

船の構造として、内部がいくつかに区分けされ、仕切りがある。浸水したときには、その出入り口の扉が閉められる。一部が浸水しても、全体に水が入らないようにしている。浸水した区の内側に閉じ込められた者は、全員溺死になる。逃げ遅れた者が、扉をがんが

ん叩いても、無駄なことだ。乗員はそんな犠牲になりやすいが、艦全体の保全のためにはしかたがないことだ。艦内の下の方に乗員の居住区を造るのは疑問に思えるが、戦闘配置に付くときは、ほとんど誰もそこにはいないから、いいのだろう……。

また、転覆を避けるため、艦には左右のバランスをとる仕掛けもあり、写真ではほとんど傾いていない。（写真によっては、いくらか右舷に傾いている）

当初、乗員7人が不明になつたと聞いて、彼らは衝突の瞬間に艦から落ちた人たちが、と私は思ったが、実は、浸水した部屋で溺死していたのだ。港に着くまで扉は開けられないから、確認できなかったのだ。事故で7人亡くなつたのは、損失として大きいのが、艦の何倍も大きく、1000個以上のコンテナを満載した貨物船に横から、まともにぶつけられたのに、これだけの被害ですんでよかつた、とも言える。

さて、どうしてこんな事故が起きたのだろうか。伊豆沖は、事故の多い海域であることは、指摘されている。毎日400隻の船舶が航行しているという混みあう海域だ。特に貨物船の航行が夜に集中し、ちょうどラッシュアワーの時間帯だったという。それなのに、双方に何人かの見張りが立ち、海上や計器なりを見て

いていたはずだが、〈相手の船が見えていなかった〉ことに尽きる。

大きな船は、すばやい舵取りはしないものだろう。

大海原では、悠然と前進している。しかし、ぶつかるかどうかは事前にわかりそうなものだが……。まだ調査中であり、実際はどうだったか、はつきりしたことはいえないが、貨物船は名古屋港から東京港に向かう、つまり西から東への航路を進んでいたが、その前を横切る形で、駆逐艦が急に進み出て、ぶつかったと推定されるから、「ぶつけられた」という表現では、被害者側なのだが、貨物船の進路を妨げるように、前に出て横切ろうとしたわけで、航行のルール上、艦の方に落ち度があったようだ。相手の船を右前方に見る側の船が、方向を変えるなりして回避行動をとらなければならぬ。つまり、航路を譲らなければならない。

真夜中の1時30分、寝静まって、あたりは真っ暗だ。しかし、船には明かりをつけていたはずであり、月明かりもあり（月齢22.3）、天候も悪くなかったというから、肉眼でも見えていただろうし、レーダーでかなり遠方まで航行する船を検知できたはずだ。見通しが限られる人間の目より、レーダーで何十キロ先を見通せるはずだし、航行管制する設備もあるだろ

う。近接する船同士が相互に通信し合う装置を備えてもいるだろう。衝突を避ける技術的な問題があったのだろうか。貨物船については、操舵手のいるブリッジは船体の一番後方にあり、甲板にはコンテナを満載していたから、肉眼では前が見にくいという状況がある。

当直の見張り役がいなかったか、あるいは、前方を見ていなかったかだ。ぶつかる危険性など考えず、前方の船を検知したとしても、相手の船がよけてくれるだろうという思い込みがあったにちがいない。それは双方の船に共通して言えることだが、軍艦には特に「民間船の方がよけるものだ」という思い込みが慣例になっているようだ。「艦がわがもの顔で漫然と（傍若無人に）航行していた」ことが、第一の要因だろう。

貨物船の船長によると、確かによけようとしたが、船体が重すぎたためだろう、よけきれなかった。ただし、よけるにしても、舵を右に切ったのはどうだったか。ルールはともかく、結果論として、貨物船は軍艦の進行方向に追従するかのよう、危険な方に舵を切ったことになる。故意に当てるかのように、軍艦の右舷にぶつけた形になった。つまり、私が推察するに、貨物船の側が、軍艦の速度を見誤った可能性がある。相手の船（軍艦）の速度が遅いものとみなして、その

前を先に行き過ぎようとしたのだろう。むしろ、舵を切らずに直進していれば、軍艦は一般の船より速く航行していたと考えられるから、軍艦は貨物船の前を通り過ぎていたかもしれない。軍艦がどのくらいの速度で航行していたかの情報が知りたいところだ。ぶつけた側の貨物船にしても、その後において、ほとんど「当て逃げ」的行動をとっていたように見えるし、約一時間、海上保安庁に事故を連絡しなかった。海上保安庁が連絡を受けたのは、2時25分だったという。

⑨ 旭日旗の意味するところ

【毎日新聞夕刊 2015/2/23 一面】

予算委で、ヘイトスピーチ法規制に安倍首相は「慎重」

【毎日新聞朝刊 2017/4/28 スポーツ】

アジア・サッカー連盟(AFC)は、25日に韓国・水原で行われたアジア・チャンピオン・リーグの試合で、川崎サポーターが旭日旗を掲げた件で、差別禁止規定に抵触するとして川崎に処分を検討している。

【毎日新聞朝刊 2017/6/4 神奈川】

在日コリアンが多く住む川崎市内の桜本地区でのヘイトデモを禁じる仮処分が決定した。】

【毎日新聞夕刊 2017/6/6 社会】

ヘイトスピーチの元突撃隊長が後悔している。彼はデモで「犯罪外国人をたたき出せ」、在日コリアンを「ゴキブリ、ダニ」「死ね、殺せ」と叫んでいた。

(掲載写真に、デモ隊が多数の旭日旗を掲げる)】

2015年2月の新聞に、安倍首相がヘイトスピーチを規制することを決まっていた、という記事があったので、参考までに付け足した。

2017年の4月、韓国・水原(ソウルの約30キロ南)で行われたアジア・サッカー大会で、日本チームとして出場した「川崎フロンターレ」のサポーターたちが観客席で旭日旗を掲げたから、とんでもないことになった。倫理違反として国際問題になった。川崎のサポーターたちは、旭日旗がどう意味するのか、わかっていたのだろうか。結果的に、アジア・サッカー連盟は川崎フロンターレに罰金を科し、無観客試合(ただし1年間の執行猶予付き)を命じた。

彼らは(旭日旗は国旗に順ずる)ぐらいの感覚だったのかもしれない。「日の丸」の代用に旭日旗を掲げ

たのかもしれないとも推察する。しかし、そもそも旭日旗は旧日本海軍のシンボルとして使われていたものだ。国際舞台で、それでなくても、悪名高い（真珠湾でだまし討ちをしたり、停泊地で慰安婦を買ったり）日本海軍の旗を掲げるのは、他国の人々の心情を傷つけるわけで、配慮に欠けている。

日本で一部の人たちは、在日コリアンに対して「たき出せ!」「死ね、殺せ」とシュプレヒコールをあげるとともに、その旗を振り回している。「オレたちは、テメーらが大嫌いだ」と言っているのが旭日旗だ。旭日旗はヘイトスピーチを盛り上げるために使われている旗なのだ。つまり、ヘイトスピーチの「旗印」^{はたらき}になっている。右翼の過激派もこれをシンボルマークにして街宣車に貼っている。

特に川崎周辺では、この旗がよく見られたはずだ。（いまでは規制されるようになったけれど）川崎サポーターがその意味を知らなかった、とは言わせない。これを見たら、コリアンの人たちはムカッとさせられる。

「オレたちはみな犯罪者か?」

韓国でのサッカーの会場でも、その意味を知っている韓国の観客たちが抗議し、この旗を下げるように押

しかけ、もみ合い寸前になったのだ。

⑩ 渋谷事件その後の逃亡と執念の追跡

【毎日新聞夕刊 2017/6/2 社会

警察が中核派のアジトに踏み込んだとき、その場にいた男が捜査員に体当たりしたとして公務執行妨害容疑で現行犯逮捕した。この男が渋谷暴動事件で指名手配中の大坂容疑者本人とDNA鑑定で判断できれば、再逮捕する。事件から46年を経た。中核派活動家、大坂正明容疑者（67）だ。】

【毎日新聞朝刊 2017/6/6 社会

渋谷暴動で亡くなった中村巡查（当時21）のため、元捜査員の尽力によって17年前、現場に慰霊碑が建てられた。1971年11月14日、事件当日、渋谷駅周辺には、沖縄に米軍駐留を認めた沖縄返還協定の批准阻止を訴える5000人近い学生らが集結した。暴徒化した約150人の中核派活動家らが機動隊と衝突した。路上で倒された中村巡查はマンホールの上で火炎瓶で焼かれた。その後救出されたが、全身やけどを負い、翌日亡くなった。】

【毎日新聞夕刊 2017/6/7 社会

同事件をめぐることは、事件を共謀したとされた6人が逮捕・起訴され、5人の実刑判決が確定している。首謀格の男(71)は無期懲役。中村恒雄巡查を鉄パイプで殴り、火炎瓶を投げつけて殺害したとされた大坂容疑者の公訴時効は、共謀したとされた他の被告が72年に起訴されたのに伴い、共犯者の時効が進行しないという刑法の規定が適用された。2010年の改正刑事法では、殺人罪の時効が廃止された。元警視庁幹部「捜査員はみんな血眼になって捕まえようとやっってきた。だが、中核派も命を懸けて大坂容疑者をかくまった」】

【毎日新聞朝刊 2017/6/8 社会】

大坂容疑者、逃走支援のための「十の掟」が作られ、中核派の約10人がかくまっていた。】

【毎日新聞夕刊 2017/6/10 社会】

警察が事件当日の様子を撮影した写真に、鉄パイプなどで武装した集団の先頭を走る大坂容疑者らしい人物が写っていた。約150人中核派が、機動隊小隊27人を襲撃した。

実刑判決を受けた活動家など複数の関係者が、大坂容疑者について「殴られて倒れた中村巡查に油をかけていた」「『殺せ殺せ』と叫んで火炎瓶を投げた

り鉄パイプで殴ったりしていた」証言している。】

【毎日新聞夕刊 2017/6/17 社会】

大坂正明容疑者は、アジト周辺で目撃されておらず、終日息を潜めていた。部屋で機関紙編集などをしていたとみられる。逃走支援役の鈴木哲也容疑者(53)とは08年夏ごろまで東京・赤羽のアジトとともに生活し、鈴木容疑者が買い物など身の回りの世話をしていたとみられる。中核派「革命軍」の生活はつましいという。賞味期限が迫って値引きされた惣菜を買い集めたり、自転車や徒歩で移動したり。

昨年1月の行ったアジトの捜索で大坂容疑者の消息をつかみ、鈴木容疑者をマークしていた大阪府警が、広島市のアジトで2人を逮捕した。】

【毎日新聞朝刊 2017/6/29 社会】

渋谷暴動の大坂容疑者を殺人罪で起訴した。本人は黙秘だが、活動からの証言を得る。】

「警察には絶対捕まりたくない」

「仲間の敵だ、絶対には捕まえてやる！」

すさまじい執念のぶつかり合いだった。よくもまあ、大坂は官憲から46年も逃げ隠れたことに、私は感心させられる。それでも自分たちの行動を正当化した

い何かがあったのだろうか。記録的な逃亡の長さだろう。以前の事例では、とつくに時効になつてもいい年月だ。

警察の威信と意地によるモチベーションと全国的な組織力が、結果的に勝つた。まるで江戸時代の敵討ちに似た逮捕劇だった。捜査員たちの長年の努力をほめたい。そして、大坂をかくまった協力者たちの結束力にも、私は感心させられる。逃亡者をかくまうのは、たいへんなことだ。ときには疎ましくなったり、面倒になつたり、経済的な負担もあり、時には裏切りたくもなるものだろう。今回は、仲間の裏切りはなかったようだ。

そんな容疑者は、逃走に疲れ果てて、さぞかし、いじけたような、やつれた面構えをしているのだろう、と想像してしまうが、逮捕された大阪容疑者を写真で見ると、その風貌は、温和な老齡の紳士なのだから、犯人らしくない。こんな男をいまさら逮捕する必要があるのかと、いぶかつてしまう。彼は人目を避け、ひっそりと慎ましい生活をしていたという。彼は46年間、刑務所にいたような生活をしてきたわけだろう。

何年逃亡しようと、この場合、時効を期待することはできなかつた。逃亡する側は、永久に逃げなければ

ならないことの、絶望感があつたのではないか。それでも、かくまう人々は、連絡には暗号を使つたりして、必死に努力したことがうかがえる。私が推察するに、大阪容疑者には中核派のなかで、尊敬されているような人間的な魅力があつたのではないか。

捕まえる側は、永久に追求できるから、あきらめる必要はないし、仲間の霊を弔うためにもあきらめることもできない。現場に慰霊碑が建てられたのも、その捜査員の怨念に似た情念によるものだろう。

言いくらいことをあえて言えば、殺された中村巡査は、機動隊の中にいて、火炎瓶を投げつけられ、たまに当たって、死に至つた不運さがある。機動隊は重裝備しているから、一般的に、石を投げられようが、火炎瓶を投げられようが、死ぬようなことはめつたにないはずだが、27人の機動隊に150人の活動家たちが襲つたのだから、数の上で、不利だった。

火炎瓶に対する防護や消火活動など、対応の方法が悪かつたことも、死者を出した要因だろう。機動隊側は、相手が火炎瓶を持つていることを事前に把握していただろうか。いまでは、デモ隊を制圧するための道具として一般的なウォーター・カノン(放水車)は、

当時用意されていなかったのだろうか。それならば、
火炎瓶などすぐに消せそうだ。

1971年11月渋谷で、機動隊の隊員たちと活動
家の一団が、ぶつかり合った。これは団体戦だった。

人間の壁となつて押さえ込もうとする機動隊に対し、
活動家がそれぞれ手製の武器を持ちよつていた。彼ら
は鉄パイプを一番の武器にしていた。

このとき、機動隊は27人で、攻撃する活動家の人
数は150人だから、圧倒的に多かった。活動家たち
にとつて撃破する格好のターゲットに見えただろう。

活動家たちは、特定の機動隊員一人を襲撃したわけ
ではないだろう。彼らは政治的な活動と思ひ込んでい
たから、「政府の手先」で不特定多数の機動隊に対し、
「殺せー」などと威勢のいい「掛け声」を叫んだにし
ても、殺すつもりはなかったと思えるし、鉄パイプや
火炎瓶では、重装備の機動隊に対し、痛めつける程度
であり、殺傷能力があるとは思つていなかっただろう。

騒ぎを大きくして、自分らの力を示したかっただけ
だろう。沖繩返還に関して自分らの言い分（米軍を沖
繩に駐留させないこと）を世間に知らせたかったわけ
だろう。（確かに、その主張は今でも意味を持つ）そ
んな体を張った闘争は、たいていは当たつてくだけて

しまふ。一人の機動隊員の死は、闘争の「戦果」とい
えるのだろうか。戦果というより重大な禍根を残すこ
とになつたわけだろう、双方において……。

彼の死に大坂容疑者が関わつたことは確かだろうが、
どさくさの中で、誰がどんな役割で何を行なつたか、
今となつて証明するのは難しそうだ。当時の中核派の
連中がその犯行を裏付けるような証言しているにして
も、警察に「言わされた」感が強い。

要は、殺人というより、過失致死のようなところが
ある。しかし、警察・検察にすれば、罪を重くしなく
てはいられない。

機動隊の側にしても、火炎瓶で機動隊員が焼け死ぬ
ことなど、想定外だったのだろう。中村巡査は、飛ん
で来た火炎瓶をまともに体に受け、火がついているの
に、機動隊の同僚たちに消火してもらえず（すぐに助
けてもらえず）一人焼け死んでしまったわけだ。同僚
の隊員たちが助けることが本当にできなかった状況だ
つたのか、疑問だ。

そうなる前に、大勢の過激派が渋谷の街に終結して
いたのに、警察側は少人数の機動隊で対応しようとし
たのはなぜだろう。先鋭的な中核派に対抗する機動隊
員の数が少なすぎることが、一番まずい。機動隊を指

揮する本部において隊員配置の設定など戦術的な取り組みに問題があった、と私は指摘したい。

① 豊田真由美氏の秘書イビリ

【毎日新聞朝刊 2017/6/23 社会】

自民党議員・豊田真由子氏が秘書暴行の発覚で、離党届を提出した。】

【毎日新聞朝刊 2017/6/26 社会】

秘書暴行の豊田氏について、麻生氏「学歴だけ見たら非もつけようのないほど立派だったけど。あれ女性ですよ、女性」】

【毎日新聞夕刊 2017/6/27 ウラから目線】

〔政策秘書のお仕事〕 福本容子

豊田真由子衆院議員が50代の男性秘書に浴びせた「このハゲ——」

1993年の法改正で、政策に専念する政策秘書の設置が決まった。年齢や勤続年数にもよるけれど、年収は1000万円になる。議員が直接の上司だけでなく、給料は税金から支払われる。伊藤淳夫さんによると、「国会議員の政策秘書の多くが、電話番号や運転手、その他雑用係をさせられている」】

【毎日新聞朝刊 2017/6/28 総合】

自民・細田氏が擁護した。「豊田氏の暴言の原因は高速道を逆送しようとしたことだ」】

【毎日新聞夕刊 2017/7/7 社会】

豊田議員元秘書が暴行で被害届を出した。】

「ちがうだろ——」「おまえはどれだけ私の心をたたいている」「わかってないよ——豊田氏のヒステリックな叫び声をが、テレビのニュース番組で聞こえてきた——被害者である政策秘書の某氏が、ひそかにボイス・レコーダーを作動させ、車内での音声を録音したものだ。豊田氏の秘書に対する暴行暴言がエスカレートし、日常的になると、意を決した秘書が「証拠」を録音し、公開に踏み切った（週刊誌に情報提供した）わけだろう。」

豊田氏はたたみかけるように早口でしゃべるだけでなく、運転中の秘書の頭をこぶしで殴りつけたり、腰を蹴ったりしたというから、すさまじい。

元秘書の某氏は、心の中で「オレはテメーの秘書を辞めてやる。テメーの悪態ぶりをばらしてやる。今にしろ。世間にバッシングされて、テメーも議員を辞めちまえ！ 議員でなければ、ふつうのオバさんだろ」

と声を上げたわけだろう。

職を投げ出すにあたって、いわば道連れのな選択をしたことになる。メディアのインタビュアーなどでは穏やかな話しぶりの某氏だが、強烈なパワーハラスメントを食らって、怒りに震えているのだ。彼は政策秘書として仕事に就いたのに、やらされていることは「見習い助手」のような雑務ばかり。お抱え運転手の役も、やらされている。これでは、仕事に身が入らないし、つい間違いをしてしまうのだろう。

豊田真由子氏があんなに怒り狂った理由がまだ私には理解できていないけれど……。某氏だけでなく、これまで何人もの秘書が些細なことでいびられて、辞めたという情報がある（週刊新潮7月13日号）。

その後、彼女は彼に謝罪して和解するような姿勢さえも見せなかったようだ。7月になって、暴言暴行を受けた元秘書は刑事告発して法廷に持ち込もうとしている。

うらみつらみが頂点に達し、対決姿勢をくずさない彼の心のうちを想像してみよう。

——〈報復だつて？ あのままでは、オレの後任の秘書も彼女にいびりまくられることになるだろうよ。オレにはもう関係ないことだけどね〉

〈バースデー・カードの宛名書きを間違えた？ 名も知らぬ人ばかりだから、整理もされていないアドレリストを渡されても、オレにはよくわからんよ。そもそも、こんな私的なことは自分で書くべきことだろう？ 代筆のようなことでは、心がこもらんよ。こんなカードは、形だけの虚礼だろ、間違えてもどうということはないよ。そもそも政策秘書に何をやらせるんだ！〉

〈逃走？ 高速道路で進入路を間違えそうになったのも、後ろで彼女が何やらわめくからだ〉

〈オレも少しは悪いよ。落ち度があつたよ。でも、倍返しで罵倒するのは、あんまりだ。他人を叱咤し、のしりまくってそんなに楽しいんか〉

〈性格が悪すぎるよ。テメーは政策秘書を見下してるんだろ。テメーは名門校を出て、官僚を務め、代議士なつたエリートなんだろうよ。でも、他人の心など、わからんのだ。テメーには他人を思いやる心がないんだろ。オレをバカよばわりし、ののしりついでに、死ぬ、死ねば、とはなんだよ〉

〈確かにオレの髪の毛は薄いよ。でも、ハゲとはなんだよ。オレが一番気にしていることを……〉——